第55期 決算データ分析資料

平成29年（2017）12月期
第2四半期

６月８日プラネット大阪（大阪府堺市）
物流設備導入

トラスコ中山株式会社

平成29年（2017）8月8日発表

執行役員　経営企画部長　中井　一雄
広報IR課長　木村　好希
広報IR課　吉見　今日子

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号
トラスコ　フィオリートビル10F

TEL：03-3433-9840　FAX：03-3433-9881

E-mail：info@trusco.co.jp

ー　資料目次　ー

第55期　平成29年(2017)12月期　第2四半期

■トラスコ中山について
P1　会社概要

A■全社経営実績
P2　①経営成績
P3　②平成29年(2017)12月期　全社月次売上高推移・1日当たり売上高

B■販売実績
P4　①販売ルート別月次推移表
P5　②販売ルート別売上高
P6　③ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高
P7　④eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移
P8　⑤ホームセンタールート得意先上位10社取引高
P9　⑥商品分類別　売上実績
P10 ⑦プライベート・ブランド(PB)商品の売上実績

C■取組み状況
P11①トラスコ オレンジブック新規掲載商品売上高・在庫アイテム及びヒット率の推移
P12 ②新規口座売上高・販売口座数推移
P13 ③システム稼働状況

D■財務等実績
P14 ①財務諸表
P15 ②販売費・一般管理費
P16 ③設備投資等の状況

E■取組戦略及び今期以降の計画
P17 ①第55期　平成29年(2017)12月期の取組み
P18 ②中期経営計画

■参考資料■
P19 ①株式情報
P20 ②ガバナンスについて
P21 ③業界での指数比較
P22 ④平成29年(2017)12月期　四半期毎の実績・予想
P23 ⑤会社データ
P24 ⑥ユーザー別販売ルート
P25 ⑦当社売上高指数・鉱工業生産指数
P26 ⑧第55期第2四半期トピックス

◇会社概要◇

創業	昭和34年（1959）5月15日
代表者	中山　哲也
本社事務所	東京本社（本店・東京都港区） 大阪本社（大阪市西区）
事業所数	94か所　本社2か所、支店73か所、 物流センター16か所、ストックセンター3か所
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部（証券コード：9830）
従業員数	2,497名（社員1,512名、パート985名）
格付状況	A （株式会社格付投資情報センター）
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとした工場用副資材（MRO商品）の卸売業および自社ブランドTRUSCOの企画開発

平成29年（2017）6月末現在

➢売上高・経常利益　12か月換算実績

（単位：億円）

※平成26年より決算期を3月期から12月期へ変更しています。上記は過去の実績を1～12月に換算した参考値です。

➢ビジネスフロー

仕入先様

メーカー
2,229社

当社　（卸売業）

- ファクトリールート
- eビジネスルート
- ホームセンタールート
- 海外向け販売

主な販売店様　5,332社

- 機械工具商・溶接材料商・管材商・伝導機商・電材商・梱包資材商
- ネット通販企業など
- ホームセンター・プロショップ・家電量販店
- 海外ディーラー・海外子会社

ターゲット市場（主なユーザー様）

- 製造業・建設関連業
- 製造業・一般消費者
- 屋外作業関連・一般消費者
- 海外製造業

A−① 経営成績

	平成28年（2016） 12月期 第2四半期	構成比	平成29年（2017） 12月期 第2四半期	構成比	前年同期比	予算 （百万円） 【】構成比	予算対比	
							増減額 （百万円）	予算比
売上高	883億65百万円	−	**958億37百万円**	−	＋8.5%	93,500	+2,337	+2.5%
売上 総利益	194億49百万円	22.0%	207億32百万円	21.6%	＋6.6%	20,504 【21.9%】	+228	+1.1%
販売費及び 一般管理費	121億92百万円	13.8%	134億25百万円	14.0%	＋10.1%	13,197 【14.1%】	+228 販管費内訳はP15	+1.7%
営業利益	72億57百万円	8.2%	73億06百万円	7.6%	＋0.7%	7,306 【7.8%】	+0	+0%
経常利益	73億95百万円	8.4%	**74億26百万円**	7.7%	＋0.4%	7,406 【7.9%】	+19	+0.3%
当期 純利益	48億30百万円	5.5%	**50億60百万円**	5.3%	＋4.8%	4,888 【5.2%】	+171	+3.5%
PB売上高	187億90百万円	21.3%	200億13百万円	20.9%	＋6.5%	19,985 【21.4%】	+28 PB商品詳細はP10	+0.1%
1株当たり 四半期純利益	73円25銭	−	76円73銭	−	+3円 48銭	74円13銭	+2円 60銭	−

- ナショナル・ブランド商品の売上構成比率が高まったことにより売上総利益率は前年同期に比べ0.4ポイント低下したものの、ファクトリールートやeビジネスルートの売上高が拡大したため利益額は増加
- 売上高の増加に伴う運賃荷造費の増加、正社員・パートタイマーの人員増加や給与のベースアップを行ったことによる給料及び賞与の増加などにより販売費及び一般管理費は前年同期比+10.1%

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

A-② 平成29年(2017)12月期 全社月次売上高推移・1日当たり売上高

▮全社合計

▮全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品はコンスタントに注文されるため、当社の売上高は営業日数の増減により影響受けます。
また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-① 販売ルート別月次推移表

▌ファクトリールート月次推移表

▌eビジネスルート月次推移表

▌ホームセンタールート月次推移表

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-② 販売ルート別売上高

▮販売ルート別売上高

販売ルート	平成28年（2016）第2四半期 売上高	平成28年（2016）第2四半期 売上総利益率	平成29年（2017）第2四半期 売上高 実績	平成29年（2017）第2四半期 売上高 前年同期比	平成29年（2017）第2四半期 売上総利益率 実績	平成29年（2017）第2四半期 売上総利益率 前年同期比	売上高（百万円） 予算	売上高（百万円） 予算比
ファクトリールート	730億47百万円	21.8%	778億98百万円	+6.6%	21.4%	△ 0.4	76,552	+1.8%
eビジネスルート	92億60百万円	26.5%	116億38百万円	+25.7%	25.6%	△ 0.9	10,678	+9.0%
ホームセンタールート	58億04百万円	17.7%	58億89百万円	+1.5%	17.7%	±0	5,922	△0.6%
その他（海外など）	2億54百万円	20.5%	4億11百万円	+61.8%	19.6%	△ 0.9	346	+18.9%
全社合計	883億65百万円	22.0%	958億37百万円	+8.5%	21.6%	△ 0.4	93,500	+2.5%

※一部のお客様をファクトリールートからeビジネスルートへ移管した為、過去の実績に差異が生じています。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B−③ ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高

▮ファクトリールート ブロック別売上高

【小山支店：前年比+20.8%】
設備投資関連商品の受注が好調
【小倉支店：前年比+13.6%】
自動車関連の生産が好調
【米子支店：前年比+12.2%】
新工場立ち上げなどの設備投資が増加

▮ファクトリールートブロック別 売上高構成比

▮ファクトリールート業種別売上高

販売ルート	平成28年（2016）第2四半期 売上高	平成28年（2016）第2四半期 売上総利益率	平成29年（2017）第2四半期 売上高 実績	平成29年（2017）第2四半期 売上高 前年同期比	平成29年（2017）第2四半期 売上総利益率 実績	平成29年（2017）第2四半期 売上総利益率 前年同期比	売上高（百万円） 予算	売上高（百万円） 予算比
機械工具商	387億53百万円	21.9%	411億29百万円	+6.1%	21.4%	△ 0.5	40,544	+1.4%
溶接材料商	103億48百万円	22.1%	110億90百万円	+7.2%	21.8%	△ 0.3	11,000	+0.8%
その他製造業関連（理化学・伝導機・梱包材商など）	116億80百万円	21.0%	126億10百万円	+8.0%	20.6%	△ 0.4	12,231	+3.1%
建設関連	122億64百万円	22.1%	130億67百万円	+6.5%	21.7%	△ 0.4	12,776	+2.3%
ファクトリールート合計	730億47百万円	21.8%	778億98百万円	+6.6%	21.4%	△ 0.4	76,552	+1.8%

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-④ eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移

▌eビジネスルート売上高

※一部のお客様をファクトリールートからeビジネスルートへ移管した為
過去の実績に差異が生じています。

販売ルート	平成29年（2017） 第2四半期			
	売上高		売上総利益率	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
通販向け	85億25百万円	+29.4%	24.6%	△ 1.1
MRO（電子購買）向け	31億12百万円	+16.6%	28.3%	△ 0.1
eビジネスルート合計	116億38百万円	+25.7%	25.6%	△ 0.9

▌通販企業 業種別売上高比率

▌通販企業向け売上高（億円）

▌オレンジコマース（電子購買）連携数推移

※電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット（システム）を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。

ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムを連携し販売店様との三者間で行います。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑤ ホームセンタールート得意先上位10社　取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。
今後は、プロショップ・資材館のあるホームセンターやファクトリールートプロショップを強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

▮ホームセンター得意先別売上高

単位：百万円、%、敬称略

順位	得意先名	平成28年（2016）2Q	平成29年（2017）2Q	前年同期比
1	㈱ナフコ	739	718	△ 1.5
2	DCMホーマック㈱	652	709	△ 5.3
3	DCMカーマ㈱	601	664	+ 14.3
4	ロイヤルHC㈱	650	650	+ 8.5
5	DCM　ホダカ㈱（プロショップ）	517	584	+ 3.6
6	コーナン商事㈱	408	484	+ 15.5
7	DCMダイキ㈱	334	327	△ 0.6
8	㈱島忠	355	321	△ 5.6
9	㈱コメリ	213	190	+ 1.0
10	㈱バロー	154	151	△ 6.1
10社合計		4,627	4,801	+ 3.7
HCルート売上合計		5,804	5,889	+ 1.5
10社のルート売上占有率		79.7	81.5	

【当社が平成19年（2007）より実施しているお取引正常化について】

①採算割れ取引の中止
②新規オープン、周年セール等、限度を超えた特別協賛の中止
③直接当社が販売していない商品に対する人的応援のお断り

以上により、第43期　平成18年（2006）売上高 219億円が約100億円に落ち込みましたが、当社は売上が落ちても正しいルールに基づいた取引を行っています。

※DCM Japan ホールディングス　合計：2,287百万円（前年同期比+5.7%）
（DCMホーマック㈱、DCMカーマ㈱、DCM　ホダカ㈱、DCMダイキ㈱、DCMサンワ㈱、㈱くろがねや、㈱ホーマックニコット）

※広報IR課にて作成した参考値です。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B−⑥ 商品分類別 売上実績

▮大分類別売上高グラフと中分類内訳

▮修理品売上高（百万円）

修理工房「直治郎」（修理請負サービス）

商品分類（大分類）	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1.切削工具 3.7	切削工具	1,709	1.8	+5.4	9.7
	穴あけ・ネジきり工具	1,846	1.9	+6.6	22.6
2.生産加工用品 8.5	測定計測	4,031	4.2	+10.2	17.0
	メカトロニクス	1,612	1.7	+5.8	15.4
	工作機工具	1,133	1.2	+11.2	21.5
	電動機械	1,328	1.4	+10.9	10.3
3.工事用品 11.1	油圧工具	879	0.9	+10.5	11.9
	ポンプ	1,541	1.6	+12.2	16.0
	溶接用品	929	1.0	+9.4	18.4
	塗装・内装用品	1,023	1.1	+8.8	24.6
	土木建築	693	0.7	△6.8	13.0
	はしご・脚立	1,383	1.4	+3.1	22.6
	配管・電設資材	1,405	1.5	+11.4	23.7
	部品・金物・建築資材	2,752	2.9	+8.9	28.6
4.作業用品 18.2	切断用品	664	0.7	+4.6	22.5
	研削・研磨用品	3,279	3.4	+7.1	24.4
	化学製品	8,332	8.7	+6.6	23.2
	工場雑貨	1,624	1.7	+8.7	15.9
	梱包結束用品	2,174	2.3	+8.6	30.8
	キャスター	1,418	1.5	+4.9	18.2
5.ハンドツール 17.3	電動工具・用品	4,464	4.7	+7.0	15.1
	空圧工具用品	3,010	3.1	+7.7	18.7
	手作業工具	8,270	8.6	+8.8	22.1
	工具箱	818	0.9	+9.8	30.1

商品分類（大分類）	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
6.環境安全用品 15.1	保護具	7,202	7.5	+11.4	24.9
	安全用品	3,969	4.1	+9.1	25.3
	環境改善用品	813	0.8	+10.9	21.3
	冷暖房用品	1,217	1.3	+15.4	16.7
	防災・防犯用品	398	0.4	△2.7	20.9
	物置・エクステリア用品	856	0.9	+11.7	14.3
7.物流保管用品 12.4	荷役用品	3,052	3.2	+12.1	17.8
	コンベヤ	612	0.6	+10.7	15.6
	運搬用品	4,653	4.9	+8.4	22.7
	コンテナ・容器	1,739	1.8	+11.6	30.4
	スチール棚	1,833	1.9	△3.0	27.0
8.研究管理用品 4.5	ツールワゴン	536	0.6	+11.0	28.6
	保管・管理用品	648	0.7	+6.0	31.9
	作業台	709	0.7	+10.6	27.0
	ステンレス用品	868	0.9	+14.5	18.2
	研究開発関連用品	1,517	1.6	+9.2	17.4
9.オフィス住設用品 9.0	清掃用品	2,542	2.7	+8.0	22.1
	文具用品	709	0.7	+14.8	18.4
	オフィス雑貨	1,012	1.1	+12.9	28.6
	電化製品	1,593	1.7	+10.1	24.4
	OA事務用機器	679	0.7	+4.0	26.7
	事務用家具	1,982	2.1	+9.3	24.4
	インテリア用品	140	0.1	△8.3	20.6
10.その他 0.2	全体	216	0.2	+10.2	14.5
合計		95,837	100.0	+8.5	21.6

（単位：百万円、%）

※保護具では手袋などの取扱い商品拡大によりファクトリールートでの売上が堅調なほか、積極的な販売展開によりeビジネス・ホームセンタールートでの売上高が前年同期比25%以上増加
※冷暖房用品では工場扇やスポットエアコンなど夏物商品の販売が好調
※ステンレス用品では取扱商品の増加により半導体関連・精密機器関連の商品需要が高く、ファクトリー・eビジネスルートでの売上高が増加

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

B-⑦ プライベート・ブランド（PB）商品の売上実績

▌PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く　　単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比 20.9% 粗利率 35.9%		構成比 21.0% 粗利率 36.0%		構成比 26.6% 粗利率 36.6%		構成比 7.3% 粗利率 29.9%	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	**20,013**	**+6.5%**	**16,361**	**+4.5%**	**3,091**	**+19.6%**	**431**	**△7.5%**
切削工具	315	+8.0%	238	+5.2%	40	+29.6%	31	△4.5%
生産加工用品	725	+7.5%	579	+2.9%	121	+26.3%	9	+1.1%
工事用品	1,648	+9.0%	1,318	+6.0%	290	+22.5%	29	+2.4%
作業用品	3,509	+6.8%	2,986	+4.4%	462	+22.1%	35	△1.8%
ハンドツール	2,164	+7.3%	1,723	+4.7%	349	+23.6%	66	△5.2%
環境安全用品	3,002	+4.8%	2,479	+2.4%	466	+17.9%	46	+11.0%
物流保管用品	5,019	+4.6%	4,040	+4.1%	750	+13.6%	204	△14.4%
研究管理用品	1,736	+7.5%	1,488	+5.8%	235	+21.2%	0	△60.4%
オフィス住設用品	1,890	+9.5%	1,507	+4.3%	375	+35.8%	4	+29.0%
その他	1	－	0	－	0	－	1	－

eビジネスルートPB商品構成比26.6%

プライベート・ブランド「TRUSCO」は当社専売品であり、在庫アイテム数も多いため、積極的に各通販企業様の通販サイトへ掲載いただいています。

▌PB商品　売上高推移

（　）前年同期比、単位：百万円、％

	平成26年（2014）3月期	平成26年（2014）12月期	平成27年（2015）	平成28年（2016）	平成29年（2017）2Q
PB構成比	19.4%	20.0%	20.6%	20.9%	20.9
PB粗利率	35.5%	35.7%	35.4%	35.5%	35.9

▌PB売上構成比

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

C−① トラスコ オレンジブック新規掲載商品売上高・在庫アイテム及びヒット率の推移

▌全社売上高における直近5年間の トラスコ オレンジブック新規掲載商品　売上高推移

▌在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移

◇売上高のうち約20%が過去5年間にトラスコ オレンジブックに新規掲載された商品の売上高で構成されています。

※平成26年（2014）より決算期を3月期から12月期へ変更しています。上記は過去の実績を1～12月に換算した参考値です。

◇在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

C-② 新規口座売上高・販売口座数推移

1、全社売上高における直近5年間の新規口座 売上高推移

2、販売口座数の推移

◇売上高のうち約10%が過去5年間の新規口座の売上高で構成されています。

※平成26年（2014）12月期は決算期変更のため9か月の変則決算です。
上記は過去の実績を1～12月に換算した参考値です。

※[参考]抹消法人数は年間100社程度

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

C-③ システム稼働状況

①ネット受注（FAX-OCR含む）実績

【ご参考】 6月末累計　照会行数：ドットクル約830件/日、WEBアクセス数約68,600件/日

受注実績	受注行数（行）	行数占有率	占有率 前年比※	受注金額（百万円）	金額占有率	占有率 前年比※
トラスコ オレンジブック.Com （販売店様、ユーザー様用）インターネット受発注	6,889,788	46.8%	+6.7	42,642	44.5%	+6.5
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	1,942,465	13.2%	+58.6	7,718	8.1%	+53.3
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	257,462	1.7%	※ △56.0	1,490	1.6%	※ △40.5
DOTKUL （ドットクル） FAX-OCR	321,329	2.2%	△12.8	1,522	1.6%	△13.0
EOS ホームセンター電子発注システム	2,637,682	17.9%	+4.2	5,290	5.5%	+2.9
計	12,048,726	**81.8%**	+7.9	58,663	61.2%	+7.7

※トラスコEDIへの移管が要因です。

②支店社員一人当たりの売上実績推移

※実績数値は、販管費（物流・本社部署人件費など）を加味した、支店社員一人当たりの売上高

ネット受注化に伴う、業務効率の改善

①全社ネット受注率81.8%
全ルートの売上高のうち80%以上のご注文がインターネットからのネット受注による売上高。

②支店社員一人あたりの売上高約94百万円
1日の平均残業時間はおよそ1時間。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-① 財務諸表

▌セグメント情報等

単位：百万円、％ 、（ ）前年同期比

		平成29年（2017）12月期 2Q	
		売上高	経常利益
報告セグメント	ファクトリールート	77,898 (+6.6)	6,117 (△1.1)
	eビジネスルート	11,638 (+25.7)	1,213 (+11.0)
	ホームセンタールート	5,889 (+1.5)	△12 (前年実績14百万円)
	計	95,426 (+8.3)	7,317 (+0.3)
その他（海外販売課）		411 (+61.8)	△6 (前年実績△69百万円)
合計		95,837 (+8.5)	7,311 (+1.2)
調整額		－	115
財務諸表計上額		95,837 (+8.5)	7,426 (+0.4)

1、「その他」セグメントには、報告セグメントに含まれない海外販売等の事業セグメントを含んでいます。

2、経常利益の調整額115百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

※調整額・・・有価証券償還益と賃貸物件の賃貸収入等

▌貸借対照表

平成29年（2017）6月30日現在
単位：百万円、％、（ ）前事業年度比

資産	負債・資本
流動資産 60,814（△5.8）	流動負債 20,080（+0.6）
	固定負債 2,254（+0.5）
固定資産 71,195（+12.2） 内、有形固定資産 62,557（+9.0）	純資産 109,674（+3.6） 自己資本比率 83.1%
総資産 132,009(+3.1)	

▌キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	平成29年（2017）12月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	637
現金及び現金同等物の増減額	△4,847
現金及び現金同等物の期首残高	10,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,835

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-② 販売費・一般管理費

▮販売費及び一般管理費の主な内訳

単位：百万円、%

		平成28年（2016）12月期 2Q	平成29年（2017）12月期 2Q	増減額	前年増減率
1	運賃荷造費	1,995	2,240	245	+12.3
2	広告宣伝費	191	213	21	+11.2
3	販売促進費	282	112	△170	△ 60.3
4	車両費	92	103	11	+12.6
5	役員報酬	200	175	△24	△ 12.4
6	給与及び賞与	4,725	5,354	629	+13.3
7	賞与引当金繰入額	548	569	21	+4.0
8	福利厚生費	905	990	84	+9.3
9	接待交際費	76	52	△24	△ 31.5
10	旅費及び交通費	263	275	12	+4.6
11	通信費	145	147	1	+1.2
12	支払手数料	548	613	64	+11.8
13	消耗品費	238	273	34	+14.4
14	水道光熱費	111	122	10	+9.6
15	租税公課	377	492	114	+30.4
16	減価償却費	1,176	1,304	128	+10.9
17	借地借家料	159	200	41	+26.1
18	その他	153	184	30	+20.1
計		12,192	13,425	1,233	+10.1

～主な要因～

売上増加に伴う出荷件数の増加。

カタログ・ウェブ掲載料金の変更（△238百万円）

社員+83名（主な内訳：キャリア社員+34名、ロジス社員+39名）、パートタイマー+162名の人員増加。給与のベースアップ。

給与増額、人員増加の影響による法定福利費等の増加

・プラネット南関東建替えに伴う賃貸倉庫仲介手数料（13百万円）
・システム等保守点検費の増加(51百万円)

・見積不動産取得税 （大分支店建物、プラネット埼玉、富士支店建物、プラネット東関東増築建物）
・

プラネット南関東 償却期間短縮に伴う追加減価償却費（102百万円）

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

D-③ 設備投資等の状況

▮設備投資の状況

平成29年(2017)第2四半期　実績	稼動予定	(百万円)
プラネット埼玉	平成30年(2018)10月	3,909
トラスコ・京都神楽岡「蓮月荘」	平成30年(2018)7月	723
プラネット大阪自動梱包ライン設置	平成29年(2017)6月	531
情報システム関連	-	461
プラネット東関東　自動倉庫棟(増築)	平成29年(2017)6月	256
大分支店	平成29年(2017)2月	254
富士支店(現:沼津支店)	平成29年(2017)4月	222
その他	-	485
合計	-	6,841

平成29年(2017)第3四半期以降　予定	稼動予定	(百万円)
プラネット埼玉	平成30年(2018)10月	3,670
情報システム関連	-	1,564
トラスコ・京都神楽岡「蓮月荘」	平成30年(2018)7月	334
プラネット南関東　建替え	平成32年(2020)5月	271
奈良ストックセンター	-	200
その他	-	420
合計	-	6,459

※物流センターの新築移転計画や物流設備への投資増加により、期初の設備投資計画11,530百万円より増加することとなりました。

▮設備投資額の推移　単位:百万円

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

E-① 第55期 平成29年(2017)12月期の取組み

1.商品戦略

業界最大の品揃え(約143万アイテム)を更に拡大し、海外ブランド商品も積極的に充実させることにより、商品供給力を高めます。

uvex

2.物流戦略

「物流を制する者が商流を制す」という信念のもと、在庫50万アイテム化計画に向けて物流設備 を増強し、更に納品のスピードアップを図ります。

3.販売戦略

取扱い商品と在庫商品の拡大で、お客様のビジネスチャンスの拡大につなげ、お客様とともに成長していきます。

4.IT戦略

業界で一番利便性の高い企業づくりのために、今後も 継続投資を行い、IT力の強化を図ります。

5.人事戦略

企業には「所帯が持てる」「貯金が出来る」「家が持てる」給料を支払う義務があることを踏まえ、正規雇用主義を守り、働きがいのある企業づくりを行っていきます。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

E-② 中期経営計画

第51期より「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。従来は経営企画課が予算を決定しておりましたが、マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。今後も支店長予算の集計が予算となるため、毎期計画の見直しが入ることになります。

※第55期1月より、一部の顧客をファクトリールートからeビジネスルートへ移管しているため、第54期のセグメント別実績を現在のセグメントに基づいて変更しております。

		第54期 平成28年(2016)12月期 実績			第55期 平成29年(2017)12月期 修正後予算			第56期 平成30年(2018)12月期 予算			第57期 平成31年(2019)12月期 予算		
		実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売　上　高		177,053	100.0	106.3	193,500	100.0	109.3	210,000	100.0	108.5	227,000	100.0	108.1
	ファクトリールート	145,582	82.2	－	156,500	80.9	107.5	166,400	79.2	106.3	175,800	77.4	105.6
	eビジネスルート	18,880	10.7	－	24,000	12.4	127.1	30,000	14.3	125.0	37,000	16.3	123.3
	ホームセンタールート	12,015	6.8	104.8	12,200	6.3	101.5	12,700	6.0	104.1	13,200	5.8	103.9
	その他(海外)	573	0.3	84.8	800	0.4	139.4	900	0.5	112.5	1,000	0.6	111.1
売上総利益		38,362	21.7	107.3	40,950	21.2	106.7	44,600	21.2	108.9	48,200	21.2	108.1
	ファクトリールート	31,199	21.4	－	32,550	20.8	104.3	34,590	20.8	106.3	36,390	20.7	105.2
	eビジネスルート	4,948	26.2	－	6,100	25.4	123.3	7,600	25.3	124.6	9,300	25.1	122.4
	ホームセンタールート	2,105	17.5	105.1	2,150	17.6	102.1	2,240	17.6	104.2	2,320	17.6	103.6
	その他(海外)	109	19.0	84.6	150	18.8	137.3	170	18.9	113.3	190	19.0	111.8
販売費及び一般管理費		24,198	13.7	106.2	26,700	13.8	110.3	29,200	13.9	109.4	31,600	13.9	108.2
営業利益		14,163	8.0	109.1	14,250	7.4	100.6	15,400	7.3	108.1	16,600	7.3	107.8
経　常　利　益		14,433	8.2	109.2	14,450	7.5	100.1	15,600	7.4	108.0	16,800	7.4	107.7
当　期　純　利　益		9,963	5.6	120.9	10,000	5.2	100.4	10,450	5.0	104.5	11,250	5.0	107.7
1株当たり当期純利益※		151円8銭	－	－	151円64銭	－	－	158円46銭	－	－	170円59銭	－	－
1株当たり配当金※		38円	－	－	38円	－	－	40円	－	－	43円	－	－
発行済株式数※		66,008,744	－	－	66,008,744	－	－	66,008,744	－	－	66,008,744	－	－
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ商品売上高		37,081	20.9	108.0	39,700	20.5	107.1	43,000	20.5	108.3	46,500	20.5	108.1
	ファクトリールート	30,716	21.1	－	32,170	20.6	104.7	33,990	20.4	105.7	35,610	20.3	104.8
	eビジネスルート	5,252	28.2	－	6,300	26.3	119.9	7,700	25.7	122.2	9,500	25.7	123.4
	ホームセンタールート	939	7.8	102.7	1,000	8.2	106.5	1,050	8.3	105.0	1,100	8.3	104.8
	その他(海外)	173	30.2	87.5	230	28.8	132.3	260	28.9	113.0	290	29.0	111.5
PB商品粗利率		35.5	－	－	35.6	－	－	35.6	－	－	35.6	－	－
PB在庫ｱｲﾃﾑ数		39,463	－	110.6	43,500	－	110.2	48,000	－	110.3	53,000	－	110.4
オレンジブックPB掲載ｱｲﾃﾑ数		45,600	－	109.9	50,200	－	110.1	55,300	－	110.2	61,000	－	110.3
設備投資額		8,197	－	181.6	13,300	－	162.3	11,500	－	86.5	12,000	－	104.3
	内システム投資	1,141	－	222.8	2,025	－	177.5	2,889	－	142.6	1,600	－	55.4
減価償却費		2,443	－	103.2	2,688	－	110.0	3,174	－	118.1	3,955	－	124.6
	内システム投資	674	－	108.2	810	－	120.1	1,070	－	132.1	1,521	－	142.1
商品在庫金額		29,055	－	116.1	32,000	－	110.1	38,000	－	118.8	41,000	－	107.9
社員数		1,424	－	105.6	1,530	－	107.4	1,630	－	106.5	1,730	－	106.1
パートタイマー人数		860	－	109.3	1,000	－	116.3	1,180	－	118.0	1,280	－	108.5

この中期経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おきください。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料①ー株式情報

▌株式の情報

単位：人

	平成26年（2014）12月末	平成27年（2015）6月末	平成27年（2015）12月末	平成28年（2016）6月末	平成28年（2016）12月末	平成29年（2017）6月末
株主合計	**15,567**	**11,718**	**16,043**	**11,092**	**18,462**	**14,497**
単元株主	14,883	10,989	15,351	10,357	17,744	13,821
単元未満株主	684	729	692	735	718	676
金融機関・証券会社	54	61	60	71	65	73
国内法人	589	563	582	541	602	552
外国法人等	163	157	170	173	196	174
個人その他	14,761	10,937	15,231	10,307	17,599	13,698

▌株式分割について

平成29年1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

売買単価が恒常的に50万円を超え、一般的に投資困難な株価の現状を踏まえ、流動性を高め、投資家がより投資しやすい環境を整えることで投資家層の拡大や長期保有の当社を理解していただける株主の増加を目的としています。

▌ROE推移

単位：%

	平成24年（2012）	平成25年（2013）	平成26年（2014）	平成27年（2015）	平成28年（2016）
ROE	5.1	6.0	7.0	8.7	9.8

＜ROEに対する考え方＞

当社では、借入や社債の発行による自社株買いなどの短期的手法ではなく、企業価値向上のための継続的な投資をすることで、利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切にし、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

▌株価指数の推移

平成20年（2008）4月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料②ーガバナンスについて

独自のガバナンス体制

【社外取締役】
・4期を目途に各定時株主総会に選任を付議
・不正防止を目的とせず、企業経営について広範な知識と充分な経験を有し、当社の持続的な成長、企業価値の向上に資する人物を選任

【部門をまたぐ定期的人事異動】
・5年を目途に役職者や課長職も部門に関係なく異動
・新たな監視の目による不正防止
・多面的な社員育成と派閥のない社風を形成

【各機関における相互牽制】
上記複数の機関が相互に牽制機能を果たすことで、ガバナンスの実効性確保及び向上に努めています。
役員1人に関して複数の機関が関与することで、多面的な視座が維持され、評価等における偏りを防止するとともに、強固なガバナンス体制の維持が可能となっています。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料③－業界での指数比較

▮同業界の商社、直販企業（上場企業）の　業績

単位：百万円、%、敬称略

商社

	決算月	平成29年（2017）－予想－ 売上高	前期比
ユアサ商事㈱	3月	465,000	＋ 4.2
㈱山善	3月	480,000	＋ 7.2
㈱日伝	3月	113,000	＋ 7.6
フルサト工業㈱	3月	97,600	＋ 3.7
㈱NaITO	2月	44,500	＋ 2.4
杉本商事㈱	3月	43,300	＋ 4.1
トラスコ中山㈱	12月	193,500	＋ 9.3

単位：百万円、%、敬称略

直販

	決算月	平成29年（2017）－予想－ 売上高	前期比
㈱ミスミグループ	3月	290,000	＋ 12.0
㈱MonotaRO	12月	84,239	＋ 21.0

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載
※弊社・㈱MonotaRO以外は3月決算、㈱NaITOは2月決算
※3月期決算の企業は平成30年（2018）3月期、2月期決算の企業は平成30年（2018）2月期の予想値を記載
※各数値は平成29年8月7日時点で公表されている予想を記載しています。

▮同業他社との売上高指数比較

※指数基準：平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※平成29年8月7日現在公開のデータをもとに広報IR課にて算出した数値。

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料④ー平成29年(2017)12月期　四半期毎の実績・予想

▌平成29年(2017)12月期【四半期 】

単位:百万円、%

	第1四半期（±0日）			第2四半期（+1日）			第3四半期（±0日）			第4四半期（+2日）		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	49,418	100.0	+6.5	46,419	100.0	+ 10.6	46,300	100.0	+ 8.9	51,362	100.0	+ 11.2
売上総利益	10,588	21.4	+6.0	10,144	21.9	+ 7.2	9,466	20.4	+ 3.7	10,750	20.9	+ 9.9
販売費及び一般管理費	6,572	13.3	+8.4	6,852	14.8	+ 11.9	6,616	14.3	+ 12.1	6,657	13.0	+ 9.0
営業利益	4,015	8.1	+2.4	3,291	7.1	△ 1.4	2,849	6.2	△ 11.7	4,093	8.0	+ 11.3
営業外収支	478	1.0	△14.3	559	1.2	+ 13.6	480	1.0	+ 2.2	481	0.9	△ 3.0
営業外費用	435	0.9	△1.8	483	1.0	+ 3.0	441	1.0	+ 3.9	440	0.9	+ 7.3
経常利益	4,059	8.2	+0.6	3,367	7.3	+ 0.2	2,888	6.2	△ 11.8	4,134	8.0	+ 9.8
特別利益	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－
特別損失	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	150	0.3	－
当期純利益	2,772	5.6	+3.6	2,287	4.9	+ 6.2	1,964	4.2	△ 8.1	2,975	5.8	△ 0.6
PB	10,257	20.8	+5.2	9,756	21.0	+ 7.9	9,673	20.9	+ 6.3	10,013	19.5	+ 9.0

▌平成29年(2017)12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期（±0日）			第2四半期（+1日）			第3四半期（+1日）			通　期（+3日）		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前期比
売上高	49,418	100.0	+6.5	95,837	100.0	+8.5	142,137	100.0	+8.6	193,500	100.0	+9.3
売上総利益	10,588	21.4	+6.0	20,732	21.6	+6.6	30,199	21.2	+5.7	40,950	21.2	+6.7
販売費及び一般管理費	6,572	13.3	+8.4	13,425	14.0	+10.1	20,042	14.1	+10.8	26,700	13.8	+10.3
営業利益	4,015	8.1	+2.4	7,306	7.6	+0.7	10,156	7.1	△3.1	14,250	7.4	+0.6
営業外収支	478	1.0	△14.3	1,038	1.1	△1.2	1,518	1.1	△0.2	2,000	1.0	△0.9
営業外費用	435	0.9	△1.8	918	1.0	+0.6	1,359	1.0	+1.7	1,800	0.9	+3.0
経常利益	4,059	8.2	+0.6	7,426	7.7	+0.4	10,315	7.3	△3.3	14,450	7.5	+0.1
特別利益	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－
特別損失	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	150	0.1	－
当期純利益	2,772	5.6	+3.6	5,060	5.3	+4.8	7,024	4.9	+0.8	10,000	5.2	+0.4
PB	10,257	20.8	+5.2	20,013	20.9	+6.5	29,687	20.9	+6.4	39,700	20.5	+7.1

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑤－会社データ

▌社員数　平成29年（2017）6月末現在

単位：人

	女	男	合計	前年同月比
役員	0	8	8	△1
執行役員	0	7	7	+2
キャリア	171	394	565	+34
エリア	244	336	580	△7
サポート	25	3	28	+11
スペシャリスト	14	16	30	+4
ロジス	57	221	278	+39
契約社員	1	23	24	±0
社員計	512	1,000	1,512	+83
パート	721	264	985	+162
従業員計	1,233	1,264	2,497	+245

女性データ：社員比率33.9%／セールス77人／キャリア比率33.4%（男39.4%）

※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

▌平均年齢・年収

単位：歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
平成28年（2016）	30.6	43.5	39.3	797	686	704
平成27年（2015）	30.9	43.3	39.6	757	654	678
平成26年（2014）12月期	30.5	43.1	39.4	756	642	668
平成26年（2014）3月期	30.4	43.4	39.7	726	609	634
平成25年（2013）	30.4	42.9	39.6	727	590	635

※年次支払の退職金「ファイナンシャルボンド」を含む金額

▌新卒採用数および退職者数　※ パートタイマー除く

単位：人、%

	平成26年（2014）3月期時点		平成26年（2014）12月期時点		平成27年（2015）時点		平成28年（2016）時点		平成29年（2017）6月末時点	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	371	900	373	907	404	945	512	959	512	1,000
	1,271		1,280		1,349		1,471		1,512	
入社者	37	40	48	53	38	56	70	33	55	49
	77		101		94		103		104	
退職者	19	7	23	13	8	24	20	18	8	9
	26		36		32		38		17	
離職率	4.9	0.8	5.8	1.4	1.9	2.5	3.8	1.8	1.5	0.9
	2.0		2.7		2.3		2.5		1.1	

▌拠点数　平成29年（2017）6月末現在

本社	2か所
支店	73か所
物流センター	16か所
ストックセンター	3か所
合計	94か所

▌倒産による回収不能金額

単位：万円

	平成25年（2013）	平成26年（2014）3月期	平成26年（2014）12月期	平成27年（2015）	平成28年（2016）
回収不能金額（万円）	60	70	0	0	35

▌在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成25年（2013）	平成26年（2014）3月期	平成26年（2014）12月期	平成27年（2015）	平成28年（2016）
廃棄金額（百万円）	42	18	27	50	32
在庫金額（億円）	202	203	217	250	290
廃棄率（%）	0.21	0.09	0.12	0.20	0.11

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑥－ユーザー別販売ルート

▮ユーザー別販売ルート

販売ルート	当社 売上高※
eビジネスルート （電子購買 仲介企業向け）	60億円
ファクトリールート	1,565億円
eビジネスルート （通販企業向け）	180億円
ホームセンター （零細・個人）	122億円

購入金額大の
大手ﾕｰｻﾞｰへ販売

購入金額小の
小規模ﾕｰｻﾞｰへ
販売

●対応するユーザーイメージ

※MROサプライとは電子購買向けの売上高
※売上高は当社の第55期売上高予想を ルート別に分けた金額

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑦ー当社売上高指数・鉱工業生産指数

▌当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移

※指数基準：平成22年（2010）を100とする
※鉱工業生産指数は平成29年4月28日時点で経済産業省より発表されている数値
※トラスコ売上高指数は、過去の実績を12か月に換算した参考値に基づき算出

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved

参考資料⑧－第55期　第2四半期トピックス

4/27～4/28　株主様向け「トラスコ東京本社見学会」開催

株主様に当社の理解を深めていただくため、東京本社の見学会を毎年開催しています。
3年目の今年は2日目が取締役会（経営会議）の開催日だったことから、お越しいただいた株主様と同伴者様には経営会議の一部もご見学いただきました。
他にも、各階の全ての部署や、地下の免震装置、電気自動車「テスラ　モデルS」など盛りだくさんの内容をご用意し、株主様との交流を深めました。

経営会議ご見学の様子➢

6/7　トラスコ　プロツールマガジン　イチオシ2017 第38回　BtoB広告賞　製品カタログ〈総合〉の部　銅賞

このカタログは日本のモノづくりに貢献すべく、一人でも多くの方にプロツールのことを知って頂きたいという思いから、仕入先様からの厳選商品情報をプロの目線で編集したカタログです。
表紙には星野仙一氏にご登場いただきました。
「難解な産業材を分かりやすく、しかも楽しめる内容に編集されている」など読者目線であることが評価されました。

メディア情報

10月1日より 当社企画のTV番組　放送決定！ (1社提供番組)

日本には一般消費者に名前が知られていなくても世界に通用するスゴイ企業がたくさんあります。そんな知られざる巨大企業を視聴者に紹介することで「日本も捨てたものではない、自分ももっとがんばろう」と思ってもらえるような、日本を元気にする番組になればと思い企画しました。
また、就職活動中の学生はIT関連企業に注目しがちですが、モノづくり企業はじめたくさんの魅力的な企業があることを学生に知ってもらい、各業界の採用活動の助力になってほしいと考えています。

＜番組名＞「知られざるガリバー」
（仮）～ 消費者の知らないエクセレントカンパニー～

＜開始日＞　平成29年（2017）10月1日スタート

＜放送時間＞毎週日曜17:30～18:00

＜CM枠＞　1分X3回、計3分（新CM放映予定）

＜放送局＞　テレビ東京系列6局にて放映
（テレビ東京、テレビ北海道、テレビ愛知、テレビ大阪、テレビせとうち、TVQ九州放送）

©2017 TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION All Rights Reserved